

令和 8（2026）年度関ヶ原町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

関ヶ原町は、岐阜県の南西部に位置している。

農業生産は、水稻の作付を主体としており、転換作物にそば、小麦、大豆、加工用米、飼料用米、野菜等がある。ほ場区画が小さく、基盤整備田の一部で暗渠排水の整備が進められているものの湿田が多く、麦、大豆等土地利用型農業について困難を極めるほ場が多い。また、鳥獣被害が多いため転換作物の作付及び定着には不利な条件下にあり、土地利用率が低い。

このため、当地域においては、金網柵設置による鳥獣対策を推進し、収益につながる対策を支援しているが、一方で農業従事者の減少や高齢化による担い手確保と育成が課題となっている。今後も積極的に担い手の確保に努め、効率的かつ収益性の高い農業の実現に向けて本対策を推進していく。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

（1）高収益作物の導入

当地域では、これまでも国の産地交付金を活用して、主食用米からの作付転換の推進などを進めるとともに、生産性が向上する栽培技術の普及を図ることで、水田収益力強化による経営安定化につなげている。

一方で、中山間地域等では鳥獣被害が多く、転換作物の作付や定着に不利な条件ではあるが、金網柵等の設置による鳥獣対策を推進し、需要のある野菜の生産等を推進している。

稲作農業者の更なる経営安定のため、地域振興作物の作付による稲作農業者の複合経営化の推進が必要である一方、支援体制の強化や機械化による安定生産、安定供給が課題である。また、鳥獣被害等が多く、農地集積等が進めづらい地域においては、引き続き鳥獣対策を実施し、野菜等の生産を推進するとともに、直売所等への出荷を目的とした所得向上につながる取組を支援する必要がある。

このため、当地域では農協、農業者、市町村が協力し、課題解決に向けて取り組む。

（2）転換作物等の付加価値の向上

当協議会における田本地面積は、耕作面積の 83.3%を占める 200ha であり、中山間地域となっている。このような状況下で主食用米の作付面積は 91.1ha と水田面積の約 45%にあたり、主食用米の作付面積は減少していないが、麦、大豆、飼料用米、加工用米などへの転換は進んでいる。

転換が進む一方、課題として、低コスト生産への取組がある。麦大豆では、ブロックローテーションによる水田高度化の取組を推進しているが、更なる団地化等の取組による拡大、非主食用米では、直播栽培の技術導入など、低コスト化の取組を加速する。

また、転換作物についても需要に応じた取組が重要であり、麦大豆では需要者等の要望に応える品質や収量の確保に務め、安定供給できる体制を進めていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

田本地面積は耕地面積の 83.3%を占める 200ha であり、中山間地域である。また、自己保全管理など約 33ha の不作付地が存在しており、現在も高齢化や鳥獣被害などの影響もあり増加傾向にある。

水田では農地集積が進んでいるが、労働力を要する果樹などの畑地では集積が遅れており、農地の利用状況の可視化や労働力の確保が課題となっている。

水田利用率を高め、不作付地の発生防止・解消をするため、地域ではブロックローテーションによる水田高度化を推進している。複数の作物の組合せによる二毛作などにより、引き続き水田の高度利用を促進する取組を支援する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者との意向を勘案して、減農薬、減化学肥料等による「安心・安全・健康」をテーマに、高品質で消費者や需要者のニーズに即した生産体系を目指し、同一品種の団地化や栽培方法の統一化を進め、売れる米づくりの推進を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を転換作物に位置づけ、産地交付金を活用し担い手に集積して生産向上と推進を図る。

イ 加工用米

主食用米の需要減が見込まれる中、加工用米を転換作物に位置づけ、産地交付金を活用し担い手に集積して生産向上と推進を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、担い手への集積を図りつつ品質評価に基づいた技術体系の改善に取組み、全農岐阜を経由する民間流通による契約栽培の円滑な推進を図る。

大豆については、担い手への集積を図りつつ全農岐阜を経由して全量出荷し、需要者ニーズに応える品質やロットの確保に努める。

(4) そば

種子更新や、作業体系の変更により収量増を目指す。地域の需要者との契約に基づき更なる作付面積の拡大を図る。

(5) 地域振興作物

特産振興野菜（かぼちゃ、なす、ブロッコリー、スイートコーン、ねぎ、さといも、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも、いちご）について、更なる作付面積の拡大や品質向上と生産拡大図り、農用地の高度利用と農業者の収益向上を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	95.4	0	91.1	0	91.1	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	2.04	0	10.06	0	10.06	0
米粉用米	0.05	0	0.05	0	0.05	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	5.43	0	0.6	0	0.6	0
麦	20.41	0	19.64	0	19.64	0
大豆	15.92	15.92	9.33	9.33	9.33	9.33
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	3.69	0.26	1.56	0	1.56	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
地域振興作物	0.79	0	0.83	0	0.83	0
・野菜	0.77	0	0.76	0	0.76	0
・花き・花木	0.03	0	0.05	0	0.05	0
・果樹	0	0	0.05	0	0.05	0
その他	0	0	0.05	0	0.05	0
・その他作物	0	0	0.05	0	0.05	0
畑地化	0	0	0	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	2025年度	2026年度
				前年度（実績）	目標値
1	飼料用米 加工用米 （基幹作）	低コスト化への助成	取組実施面積	飼料用米 2.04ha	飼料用米 10.06ha
				加工用米 5.43ha	加工用米 0.6ha
				合計 7.47ha	合計 10.12ha
			生産費	飼料用米 156.0千円/10a 加工用米 156.0千円/10a	飼料用米 156.0千円/10a 加工用米 156.0千円/10a
2	麦・大豆（基幹 作・二毛作）	麦・大豆への助成	作付面積	麦 基幹作 20.41ha	麦 基幹作 19.64ha
				二毛作 0ha	二毛作 0ha
				大豆 基幹作 0ha	大豆 基幹作 0ha
				二毛作 15.92ha	二毛作 9.33ha
				合計 36.33ha	合計 28.97ha
			単収	麦 295.7kg/10a 大豆 94.0kg/10a	麦 300.0kg/10a 大豆 94.0kg/10a
3	そば（基幹作・ 二毛作）	そばへの助成	取組面積	そば 基幹作 3.69ha 二毛作 0.26ha	そば 基幹作 1.56ha 二毛作 0ha
			単収	そば 78.0kg/10a	そば 80.0kg/10a
4	かぼちゃ なす ブロッコリー スイートコーン ねぎ さといも たまねぎ キャベツ じゃがいも いちご （たまねぎ、キャ ベツは生食の み）（基幹作・二 毛作）	地域振興作物への助成	作付面積	かぼちゃ 0ha	かぼちゃ 0.01ha
				なす 0ha	なす 0.01ha
				ブロッコリー 0.13ha	ブロッコリー 0.13ha
				スイートコーン 0.02ha	スイートコーン 0.02ha
				ねぎ 0.14ha	ねぎ 0.14ha
				さといも 0.09ha	さといも 0.09ha
				たまねぎ 0.01ha	たまねぎ 0.01ha
				キャベツ 0ha	キャベツ 0.01ha
				じゃがいも 0.01ha	じゃがいも 0.01ha
				いちご 0.23ha	いちご 0.23ha
				合計 0.63ha	合計 0.66ha
5	野菜 果樹 花き・花木 その他作物 （基幹作）（別 紙）	野菜等への助成	作付面積	野菜 0.07ha	野菜 0.1ha
				果樹 0.0ha	果樹 0.05ha
				花き・花木 0.03ha	花き・花木 0.05ha
				その他作物 0.0ha	その他作物 0.05ha
				合計 0.1ha	合計 0.25ha

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:岐阜県

協議会名:関ヶ原町農業再生協議会

整理番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	低コスト化への助成	1	15,000	飼料用米、加工用米	ドローンによる防除の実施等
2	麦、大豆への助成	1	4,000	麦、大豆	排水対策等
2	麦、大豆への助成(二毛作)	2	4,000	麦、大豆	排水対策等
3	そばへの助成	1	23,000	そば	排水対策等
3	そばへの助成(二毛作)	2	23,000	そば	排水対策等
4	地域振興作物への助成	1	24,000	かぼちゃ、なす、ブロッコリー、スイートコーン、 ねぎ、さといも、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも、 いちご	対象作物を出荷・販売すること
4	地域振興作物への助成(二毛作)	2	24,000	かぼちゃ、なす、ブロッコリー、スイートコーン、 ねぎ、さといも、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも、 いちご	対象作物を出荷・販売すること
5	野菜等への助成	1	5,000	別紙のとおり	対象作物を出荷・販売すること等

※1 ニ毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、ニ毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(ニ毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、ニ毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携でニ毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・ニ毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、ニ毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携でニ毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

野菜等に係る分類について

別紙

作物	野菜	58	果樹	18	花き・花木	4
具 体 的 内 容	200 きゅうり	276 マコモタケ	401 日本なし		500 花き	
	201 トマト	283 ちぢみほうれんそう	402 西洋なし		501 菊	
	203 ピーマン	285 モロヘイヤ	403 もも		504 花木	
	206 すいか	280 オクラ	404 うめ		908 種苗類	
	207 メロン		405 びわ			
	209 カリフラワー		406 かき			
	210 はくさい		407 くり			
	211 ほうれんそう		408 いちじく			
	214 レタス		409 キウイフルーツ			
	215 だいこん		410 ブルーベリー			
	216 にんじん		411 ゆず			
	218 れんこん		412 りんご			
	219 しょうが		413 ぶどう		その他作物	2
	220 えだまめ		414 その他果樹		〈工芸作物〉	
	221 青さやいんげん		415 みかん		279 ごんにゃくいも	
	224 さつまいも		420 一般山椒			
	225 アスパラガス		421 パッションフルーツ		〈豆類〉	
	226 きのご類		422 南天		287 小豆	
	227 その他野菜					
	229 ふき					
	230 かぶ					
	231 みょうが					
	232 しろかぶ					
	233 ささが					
	234 なばな					
	267 くわい					
	268 その他湿水性野菜					
	269 グリンピース					
	272 にんにく					
	273 自然薯					
	274 一寸空豆					
	275 ヤマトイモ					